

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.31.32

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その31.32[2012年10月13.21日]

10月13日(土)、この日は平成24年第2回の英語検定の実施日である。自塾でも中3生徒を中心に受検生が多いので和枝先生が居残り、私が単独で仙台に向かった。仙台駅で東北大の小野さんと待ち合わせる。いつものようにレンタカーに乗りこんだのだが、さすがに二人だけだと少々さみしいものだ。通いなれた行程ではあるし通常より早めの集合時間だったので、どこにも立ち寄ることなく開会の集会所に直行する。

今回の英検には5級3名、4級4名そして3級に4名の計11名がチャレンジする。6月の第1回検定では、1名のみHさんが準2級をうけ合格している。だが出前寺子屋としては、今回が事実上初めての英検実施といえよう。

検定会場となる集会所をパーティションで区切って3会場を設営する。ところがいくら工夫しても、リスニング等の音がもれてしまう。学校や塾などの受検生と比べると、不利なことこのうえないのだが、皆さん不平を洩らすわけでもなく黙々と問題に取り組んでおられた。



集会所での英検3級実施会場、パーティションの隣は4級会場。

この日は検定が終われば何もすることはないので、集会所から仙台へ帰りを急いだ。できれば解答用紙の返送を、この日の宅急便の締切に間に合せたかったのだが、さすがに石巻と松戸との距離はいかんともしがたい。松戸実施分もふくめて翌日の解答返送となった。

翌週の16日、検定協会が標準解答をウェブで公開した。そこでさっそく内部採点を行った。手ごたえとしては全員合格の感触はつかんではいるのだが、2名ほどボーダーライン上の者がいたので、その点が気がかりであった。そして採点の結果、全員が合格ラインを越えていることを確認した。11名の平均点もきわめて高く、まったく心配の余地のない期待以上の成績であった。驚きであったのは4級受検の中1のM君が満点、5級のSさんが1ミスの高得点を記録したことである。ともに英語学習を始めて半年ばかりだが、初めての受検体験が彼らの今後の英語学習に、高いモチベーションをもたらすであろうと期待するところだ。

報告:谷村思志厚

32回目にあたる21日の出前寺子屋参加者は、漢検受講者16人、英検受講者9人で、参加人数の名目上の合計は25人。但し、英検と漢検の両方を受講している方がこの中に6人含まれているので、実際の人数は19人であった。

前回の寺子屋(10月13日)で英検の本番試験を11の方が受検されたのであるが、内部採点をしてみると、何と11人全員が合格ラインを越えてくれたのであった。そこで本日(10月21日)は、5級と4級の合格者はそれぞれ上の級に学習を進め、3級の1次試験合格者は2次試験の対策を開始したのである。

前々回まで、合否のボーダーライン上にいた3級受験のE君と4級受験のAさんは、共にラインをクリアしたので、新しいテキストを受け取り、晴れやかな表情で新たな領域の学習に取り組んだ。

さて、この3級の2次試験では、英語での質疑応答が行われ、個人的な事柄にも質問が及んでくる。本日、4回分の過去問題に取り組んだのだが、その応答の中に、被災地石巻が復興の途上であり、鉄道の復旧は道半ばであり、暮らしにも余裕が無い実態が色濃く出て来たのである。



2時30分からの全体集会で、皆さんに英検全員合格の見通しを報告する。

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日

①スクーリング(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受検(第Ⅲ期)

平成24年度第2回英語2012年10月13日

平成24年度第2回漢字2012年11月10日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

2次試験の過去問題で、「この前の冬休み(last winter vacation)に、あなたは特に何をしましたか」の質問に対して、中学3年生の1人は「私は、石巻イーオン・ショッピング・モールに行った」と英語で応えた。「え?仙台じゃ無いんだ」と私(谷村和枝)は日本語で叫んでしまった。



「次の春休み(next spring vacation)に、あなたはどこへ行きたいですか」の質問には「渡波イーオン・ショッピング・モールに」と別の中学3年生が応えた。ここは石巻市内の海側にあるのだが、好運にも津波の被害を受けなかったショッピング・モールである。この2か所のショッピング・モールは彼らが住んでいる仮設住宅や市の借上げ住宅から車で10～20分で行ける所にある。自転車でもいける。

私が応えとして予想していた仙台は、仙台-石巻間を走るJR仙石線が津波で線路が流されたままの状態、現在も復旧していないため、中学3年生が冬休み、春休みに友だちと一緒に遠出をする目的地になってはいないのである。足の便も悪く、出費がかさむことになる大都会仙台に出かけるより、安近短(安くて、近くて、短時間滞在)の市内ショッピング・モールこそが、彼らのレジャー・ランドなのであろう。

仙台には地方中枢都市らしい文化がある。だからこそ、若い彼らには長い休みに出かけて行って、是非文化に触れて欲しい、そう考えるのだが。ああ、この状況、何とかならないかなーと考えながら家路についた。

次回の出前寺子屋は11月10日に開催される。この日は漢字検定の試験があり、7人の受講生が受検をする。試験終了後は、英検・漢検の学習会もある。穏やかな日であることを祈る。

報告:谷村和枝

過去3回の漢字検定実績・58名受検中合格者52名

2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、6級-3名、7級-2名 (小中学生16名、一般36名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただき皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)

後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)

支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)